

令和6年度

学校関係者評価報告書

穴吹デザイン専門学校

学校関係者評価報告書

穴吹デザイン専門学校 学校関係者評価委員会は、令和5年度学校自己評価に基づく学校関係者評価を実施いたしましたので報告致します。

令和 7 年 6 月 30 日
穴吹デザイン専門学校
学校関係者評価委員会

1. 学校関係者評価の目的

より実践的な職業教育の質を確保するため教育活動の観察や意見交換等を通じて、穴吹デザイン専門学校の自己評価の結果を評価することを目的とした委員会を置く。

委員会は、穴吹デザイン専門学校が行った教育活動及び学校運営の状況についての自己評価の結果を踏まえた本校の評価を行い、その結果を校長に報告する。

2. 委員・教職員

(委員)

秋田 正洋 段原地区社会福祉協議会 会長

河野 幸浩 広島県立広島工業高等学校 校長

→ 当日はご校務のため 齊藤 剛篤 教頭 が出席

川上 佳代 有限会社コンセプトワーク 代表取締役・日本グラフィックデザイン協会 運営委員

山岡 修 穴吹デザイン専門学校同窓会 創進会

高 真美 穴吹学園保護者会 会長

(学校教職員)

尾崎 隆一 穴吹デザイン専門学校 校長

→ 当日は校務のため 林田 正彦 名誉校長 が出席

植村 祐介 穴吹デザイン専門学校 副校長・教務部部長・産学地域連携センター

種田 真幸 穴吹デザイン専門学校 事務局長・就職キャリアセンター部長・産学地域連携センター長

平田 卓也 穴吹デザイン専門学校 教務部教務課次長

3. 学校関係者評価委員会実施日時

開催日時 : 令和7年6月18日(水)15:00～17:00

開催場所 : 穴吹デザイン専門学校 A702教室

4. 自己評価結果の説明・報告(自己評価報告書参照)と財務状況の報告

当校の「教育理念」「目的」及び「令和6年度の目標と計画」について説明。保護者アンケート結果を報告し、財務状況と自己評価項目について報告。「評価結果(総括)」と「取組状況とその分析」「今後の改善方策等」について報告を行った。書式は穴吹カレッジグループ所定の書式にて実施。

各評価項目について、「A」十分である「B」おおむね十分である「C」やや不十分である「D」不十分である の4段階にて評価。財務状況については貸借対照表と資金収支計算書により説明。適切な経理処理が行われており、財務状況の改善が継続している。

5. 報告ならびに意見交換・質疑応答

●保護者アンケート結果報告について

- 令和5年度のアンケート回答率が29.6%に留まった点を改善することに取り組んだ結果、令和6年度は54.19%の回収率となった。次年度以降もアンケート回収率を更に向上させる努力を継続したい。
- Q1からQ5は「評価している」という回答が大半を占めている。Q6は海外研修旅行を予定したが催行定員に達せず実施しなかったことが「評価していない」回答が増えた原因と分析している。
- Q7のメンタルサポートについては、相談を促しても行きたがらない学生が多い印象。
- Q10の就職サポートについての評価が低くなった個別意見についての説明を行った。学生ごとに変えている就職支援の現状が保護者に伝わっていないことに一因がある。今後は保護者と直接情報共有することを徹底したい。
- Q13の学校情報の発信については、登録を頂いた保護者に対して毎週の出席状況をメール配信している。学校HPでも行事報告などの公開を行っているが、見て頂けるのが改善が必要なポイントと考えている。

●事業報告・財務状況報告について

- 171名が入学し在籍数は339名。退学率は6.1%で155名が卒業。うち141名が就職。退学率が昨年より悪化している。退学の理由としては学習意欲の低下・進路変更を理由とするものが半数を占めた。入学前の学習の動機・目的意識を高めさせる取組みを検討している。
- 卒業生数を分母とした内定率は90.9%。卒業後も就職支援を継続して職業に就くためのサポートを継続実施している。
- 入学生数の高止まりが続いているため財務状況も安定した状態が継続出来ている。
- 在校生では複数のコンペで受賞。日本パッケージデザイン学生賞では卒業生が審査員として登壇するなど活躍が見られる。
- 卒業生、講師の令和6年度の主な活躍状況を行った。広島県内でのデザインコンテストでは多くの卒業生が受賞しており各方面で活躍している。

●自己評価報告書について

自己評価報告書の理念・目的・目標・計画と総括した結果を報告したのちに、評価項目別評価結果について①～⑫までの全ての項目について取り組みと結果を報告した。

●総括した結果について

- 学園祭(BRUCKE)を実施し、学科を超えた交流が図れました。また、第一線で活躍されている多彩なゲストをお招き出来たことで、学科の枠を超えてデザインへの関心を高めることが出来たと実感しております。
- 地元の幅広い業界の仕事内容の変化を把握するために、経営者と直接意見交換を行える広島県中小企業家同友会の求人・社員教育に特化した交流行事に参加致しました。その情報をもとに教務部と連携して就職支援を行った結果、専門職内定率68%の実績を残しました。
- ネット動画クリエイター学科については、募集目標は未達でしたが入学者数は前年よりも増加し学科の認知度は上がっていると感じます。今後も更に工夫改善を行って参ります。
- 授業運営と教務業務に関してはオンライン学習ツールのバージョンアップを行い、100名以上のオンライン会議や授業録画が可能となりました。今後も環境改善を継続したいと考えています。
- 発達障害などの特徴のある学生支援のために、団体・企業への訪問を実施致しました。学生の実状に合った支援を行うとともに、採用頂いた企業については定着に向けたサポートを協力して継続することを実施したいと考えています。

●総括した結果の課題と改善方策について

- ・授業やチューターの枠を超えた人員配置を行い、学内の更なる活性化を図ります。並行してWebサイトを通じて授業の様子、在校生・卒業生の活躍を含めた活動の様子を発信致します。
- ・年度によって変化はありますが、募集が振るわない学科については広報活動全般を見直して募集目標の達成に向けた努力を継続致します。
- ・上記に関連してオープンキャンパスの運営に在校生を積極動員しております。協力してくれる在校生も増加したことで、入学後のイメージをリアルに描いてもらえると考えています。
- ・卒業生の活躍の様子を在校生に身近に感じてもらうため、卒業生の作品を購入して学内展示を行ったり、卒業生の取材を行い公開することでデザイン分野の活躍フィールドの広さを発信する取組みを実施致します。
- ・オンライン学習ツールの更なる利便性向上のため上位バージョンの導入の検討や通信環境の整備を引き続き実施致します。
- ・様々な学校種から入学している現状があるため学びが多様化しています。学生の状況に応じた学習環境の整備や支援策の構築を行って参ります。
- ・これまでの産学連携から一步踏み込んだ地域との関りを深めることが重要だと考えています。情報収集のために意見交換の出来る場面には積極的に関わられる体制を整えます。

●令和6年度の目標と計画について

- ・①部署を超えた横のつながりを強固にし学生満足度を上げ目標を達成する ②地域や業界団体と協同し学生のデザインに対する関心を深め知名度をさらに上げるとともに地域に開かれた教育を展開する ③ネット動画クリエイター学科・建築学科の募集目標を達成するために募集施策を練り直す の3点を目標とする。
- ・目標達成の計画として ①教員・学生共に学科を超えた人的交流を発展させ学校の活性化につなげる ②多様化・デジタル化を推進し授業の質を上げる ③業務のコスト削減と効果の増大の観点で見直し改善する ④異業種交流を積極的行い企業・団体との交流を行う ⑤他部署への情報共有と連携を更に推進して協働体制を確立する ⑥進路決定で「選ばれる学校」になるためのマーケティングを展開し学校ブランディングを構築する の6点を具体的行動計画とする。

●評価項目別の評価結果について

①教育理念・目的・育成人材像について

- ・デザインに関する業界は急速に変化を続けており、業務内容の変化に即した人材像を継続して探り、教育に反映して参ります。

②学校運営について

- ・学科責任者の配置と学科間ミーティング、管理職ミーティングを実施して、情報の二重管理の防止を行うなど円滑に学校運営が行えるように致しました。
- ・Google Workspaceを活用して業務の効率化に取り組みました。今後も継続して参ります。

③教育活動について

- ・外部ニーズに対応した付加的教育として広島県立加計高等学校のPR動画授業に関わりました。
- ・定期的に講師会や学科責任者会議等を実施して情報の伝達と共有を図り、常に良好な教育活動内容であるよう留意しています。
- ・学外特別授業も実施して、マツダ(株)デザイン本部から3名をお招きしてデザインセミナーを開催致しました。

④学習成果について

- ・授業では実技が多いため課題への評価の精度や透明性であったり統一性の担保が課題であると考えます。引き続き問題意識を持って学習成果の向上につなげます。

⑤学生支援について

- ・メンタル面の支援を充実させるために心理カウンセラーの相談を週に一回と固定致しました。結果として相談希望者が増えております。
- ・生活環境支援体制としてオープンキャンパスの際に学生寮運営企業と連携して相談・説明を実施致しました。
- ・社会人のニーズを踏まえた教育環境の整備では、入学前の履修に関しての取扱いで単位制を導入しておりません。令和8年度からの単位制導入の準備を進めています。

⑥教育環境について

- ・学生アンケートの要望に合わせて学生トイレの修繕・女子トイレの増設・A棟2Fへの図書スペースを整備致しました。通信量の増加が予想されるためネットワークインフラの改善が必要であると考えておりますので改善に取り掛かります。

⑦学生募集と受入れについて

- ・募集活動イベントへの動員は前年比100%と同水準微増でしたが、入学生数は前年比に対して微減となりました。進路検討者にデザイン分野・職業理解が出来る発信を増やすことが重要であると考えています。

⑧財務について

- ・在校生数が高止まりの状態が続いているため昨年度に引き続いて財務状況は安定しています。

⑨法令等の遵守について

- ・穴吹学園セキュリティポリシーに基づいた運用を行い、情報漏洩の防止に取り組んでいます。

⑩社会貢献・地域貢献について

- ・地域や企業からの依頼については対応可能な範囲でお応え致しました。産学連携においては様子を学校HPにて外部発信することに努めました。
- ・本年度から産学連携の部署に地域連携の業務を新たに追加して社会・地域への貢献についての情報収集を更に強化致しました。

⑪国際交流について

- ・ベトナムへの優秀生海外派遣を行うことが出来ました。また、銘傳大学とのオンライン交流により、価値観や文化の違いの理解を深めることが出来ました。
- ・デザイン海外研修は予定を致しましたが催行人数に達しなかったため実施出来ませんでした。

⑫総括

- ・各点検項目の取り組みは概ね達成されており、継続して適正な学校運営がなされています。今後も業務の担当責任者を明確にし、部門間の連携を強化して学校運営を行います。

《報告全体を通して委員からの意見・質問》

【秋田委員】

『15年ほど前から地域イベントである水辺ジャズ・駅前勉強会に学校が参加して頂けるようになりました。学校主催のデザインイベントにもお声掛けを頂いて出展して交流が深まったこともありましたので、今後も接点を持ちたいと考えています。』

→ コロナ禍により学内イベントを校舎内で実施するようになっていますが、今後は学外でイベントを再開することも検討しています。交流は今後も深めたいと考えています。

【齊藤委員】

『取り組みの報告をお聞きして、本校も作品制作を通じて自己肯定感を持たせたいと思いました。』
『在校生には物造りの面白さを実感できる経験をさせたいと思います。その結果として地域社会に必要とされる人材になれるよう育成したいと思います。』

『卒業生の活躍の様子を発信することの重要性を再認識致しました。本校でも卒業生の活躍を』
『外部に発信していますが継続したいと思います。』

→ 私共も同じ考えです。ご意見ありがとうございます。

【川上委員】

『学科を超えた取り組みをされている点は非常に良いと思いました。と言いますのは、デザインの業界は境界がなくなりクロスメディアが求められているからです。』

『世の中の仕組みや考え方が変化していますので、それに対応した表現が出来るデザイナーが必要になって来ると思います。』

『デザイン業界でも働き方が変化して来たと感じます。女性の進出により産休・育休を取ることも特殊なことではなくなりました。育児のため定時で退社することも当然になって来ました。以前は深夜勤務は普通の出来事という感覚でしたが時代は変わる、ということですね。』

『会社に属さずフリーランスとして活動し、声の掛かった仕事が終われば他のことをやる。そんな若者が業界内でも増えたと感じます。働き方の多様性が進んでいると感じます。』

→ 変化と多様性が業界内でも進んでいる訳ですね。情報をありがとうございます。

【山岡委員】

『退学者数が学科によって違いましたが勉強が大変だからとか厳し過ぎると感じるから辞めてしまうのでしょうか？そうは言っても優しすぎる環境では社会に出て通用しないのではないのでしょうか？』

→ 学科ごとの退学者の傾向は毎年違いますので、令和6年度の特徴であると私共は考えています。

→ 様々な学校種から入学して来るので学生の特徴に合った支援やサポートが必要になって来たと実感しています。甘やかすのではなく社会で必要になることは伝える。この姿勢は続きます。

【高委員】

『昨年も参加させて頂いたので、委員会の意見を次の年度に活かしていることが良く理解出来ました。意見に対して丁寧に対応して、より良くしようとされていることがわかりました。』

『個別の意見には厳しい内容もありますが、それに対して善処されていることがわかりました。』

『保護者の立場では学んだことが職業につながるのかを知りたかったのですが、なりたいたいと思う職業に就いている実績をお聞きするとすごいことだなと感じました。』

→ 保護者様の立場のご意見がお聞き出来て良かったです。今後も何かありましたら申しつけ下さい。

本日は貴重なご意見を賜り、誠にありがとうございました。これからも皆様のご期待にそえますよう、頂きましたご意見を日々の教育に活かして参ります。今後も宜しくお願い申し上げます。

以上